

3. 留学生センター教官研究業績・留学生センター関連出版物(1998年4月～1999年3月)

松岡 弘

論文

- (1) "Japanese Language Acquisition and Learners' Integration into Japanese Society", (Monika Cigler と共著) *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol.39, No.1, 57- 59, The Hitotsubashi Academy, Hitotsubashi University, 1998.12

報告書

- (1) 「日本語教育の 10 年」『一橋大学留学生センター紀要』創刊号、1-15、一橋大学留学生センター、1998.7
- (2) 「序論」「分析：日本語複合助詞・複合助動詞－誤用分析からみた類義表現の構造－」『日本語の複合助詞・複合助動詞の研究－誤用分析からみた類義表現の構造－』平成9・10年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)研究成果報告書(研究代表者：松岡弘)、1-19、1999.3

教科書

- (1) 『社会科学への道しるべ(中級編)』(渡辺雅男、五味政信、鶴田庸子、庵 功雄と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ5、一橋大学留学生センター、1999.3

三枝令子

論文

- (1) 「文脈指示の「コ」と「ソ」の使い分け」『一橋大学留学生センター紀要』創刊号、53-66、一橋大学留学生センター、1998.7

報告書

- (1) 『日本語能力試験の概要 1998 年版(1997 年度試験結果の分析)』(大坪一夫、村上隆他6名と共著)、国際交流基金 日本国際教育協会、1999.3

教科書

- (1) 『留学生のための法律用語集』(橋本正博、青木人志と共編)、一橋大学学術日本語シリーズ3、一橋大学留学生センター、1999.3
- (2) 『判例で学ぶ日本の法律』(橋本正博、青木人志と共編)、一橋大学学術日本語シリーズ4、一橋大学留学生センター、1999.3
- (3) 『(留学生のための日本語教科書) 経済学・商学の語彙と表現』(今村和宏、西谷まりと共著)、一橋大学経済学部、1999.3

五味 政信

報告書

- (1) 「衛星通信講座における会場助言者(ファシリテーター)の役割について」『文化庁月報』No.354、13-14、文化庁、1998. 3(97年度未掲載分)
- (2) 「衛星通信ディベートの教育効果」『衛星通信を活用した日本語教育の推進』65-66、文化庁文化庁国語課、1999.3
- (3) 「留学生にボランティアとして日本語を教える」『留学生理解のための基礎講座』一橋大学留学生センター教育研究シリーズ3、57-83、一橋大学留学生センター、1999.3

口頭発表予稿集

- (1) 「上級読解教材の開発」『日本語研究方法研究会誌』(松岡弘と共同執筆) Vol.6 No.1, 50-51, 1999.3
- (2) 「専門教員との連携－そのあり方を探る－」『第14回大阪大学留学生教育・支援協議会/第1回専門日本語教育研究討論会講演要旨集』大阪大学留学生センター、1999.3

教科書

- (1)『社会科学への道しるべ(中級編)』(松岡 弘、渡辺雅男、鶴田庸子、庵 功雄と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ5、一橋大学留学生センター、1999.3

今村和宏

教科書

- (1)『(留学生のための日本語教科書) 経済学・商学の語彙と表現』(三枝令子、西谷まりと共著)、一橋大学経済学部、1999.3

鶴田庸子

翻訳

- (1)『語用論入門：話し手と聞き手の相互交渉が生み出す意味』(Jenney Thomas, *Meaning in interaction: An introduction to pragmatics*. 浅羽亮一、田中典子、津留崎毅、成瀬真理と共訳)、研究社出版、1998.5

論文

- (1)"Politeness, the Japanese style: an investigation into the use of honorific forms and people's attitudes toward the use". 未公開 Ph. D 論文, Faculty of Humanities, University of London, 1998.6

教科書

- (1)『社会科学への道しるべ(中級編)』(松岡 弘、渡辺雅男、五味政信、庵 功雄と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ5、一橋大学留学生センター、1999.3

西谷まり

論文

- (1)「外国人児童の日本語習得段階と日本人児童との対人関係」『一橋大学留学生センター紀要』創刊号、67-82、一橋大学留学生センター、1998.7
- (2)「インターネットを利用した日本語読解支援システム」『一橋論叢』120 巻第 3 号、90-110、一橋大学、1998.9

教科書

- (1)『(留学生のための日本語教科書) 経済学・商学の語彙と表現』(今村和宏、三枝令子と共著)、一橋大学経済学部、1999.3

庵 功雄

論文

- (1)「ことばのしくみを考える」『一橋論叢』120 巻第 3 号、119-4、79-92、一橋大学、1998.4
- (2)「テキスト言語学の理論的枠組みに関する一考察」『一橋大学留学生センター紀要』創刊号、33-52、一橋大学留学生センター、1998.7
- (3)「名詞句における助詞の有無と名詞句のステータスの相関に関する一考察」『言語文化』35,21-32、一橋大学語学研究室、1998.12
- (4)「ア系統指示詞の用法に関する一考察」『現代日本語研究』6、100-114、大阪大学、1999.3

報告書

- (1)『ことばのしくみを考える』、一橋大学留学生センター教育研究シリーズ2、一橋大学留学生センター、1999.3

教科書

- (1)『社会科学への道しるべ(中級編)』(松岡 弘、渡辺雅男、五味政信、鶴田庸子と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ5、一橋大学留学生センター、1999.3

横田雅弘

論文

- (1) 「大学生の国際交流意識とその醸成過程～異文化間教育の視点から見た学生国際交流サークルの実践活動～」江淵一公編著『トランスカルチュラルイズムの研究（江淵一公教授退官記念論文集）』、405-447、明石書店、1998.11
- (2) 「留学生と日本人学生の異文化間教育」『現代のエスプリ 特集：多文化時代のカウンセリング』377、井上孝代編、109-118、至文堂、1998.12

報告書

- (1) 「留学生相談の10年」『一橋大学留学生センター紀要』創刊号、17-31、一橋大学留学生センター、1998.7
- (2) 「第2章 危機的状況への対応：入院」「第3章 危機に対応するスタッフとチーム」『留学生をめぐる危機的状況にどう対応するか』、1994年度JAFSA調査・研究助成プログラム報告書（研究代表者 花見棋子）、15-23、69-75、1998.12
- (3) 「地域とよい協力関係を結ぶために～大学が地域と交流することの意味を問うことから～」『留学交流』第11巻2号、2-5、ぎょうせい、1999.2
- (4) 「留学生受け入れの現状と意義」、「転換点に立つ留学交流～諸機関の連携をめざして～JAFSA創立30周年記念 第17回夏期研究集会報告書」、30-38、JAFSA（外国人留学生問題研究会）、1999.3
- (5) 「世界・日本・一橋大学の留学生」『留学生理解のための基礎講座』一橋大学留学生センター教育研究シリーズ3、1-18、一橋大学留学生センター、1999.3
- (6) 「異文化間教育学における留学生教育交流研究」（白土悟、有川友子と共著）『異文化間教育の体系化に関する基礎的研究』、平成8、9、10年度文部省科学研究費補助金（基盤研究A）最終報告書（研究代表者 平成8年度 江淵一公、平成9・10年度 吉谷武志）、83-122、1999.3
- (7) 「留学生と地域社会」、「ジョイン」31、44-47、文教大学、1999.4

水野治久

論文

- (1) 「人種の偏見」 國分康孝他編『学校担任のための育てるカウンセリング全集第2巻 サイコエジュケーション』、123-127、図書文化、1998.10.

報告

- (1) 「留学生のカウンセリング」『留学生理解のための基礎講座』一橋大学留学生センター教育研究シリーズ3、19-37、一橋大学留学生センター、1999.3.

口頭発表予稿集

- (1) 「アジア系留学生の援助に対する意識と被援助志向性に関する研究」（石隈利紀と共著）『日本カウンセリング学会第32回大会発表論文集』263-264、1999.7.
- (2) 「アジア系留学生のソーシャルサポートと適応、被援助志向性の関連」（石隈利紀と共著）『日本教育心理学会第41回大会発表論文集』533、1999.8.

田中 宏（1996年4月以降）

著書

- (1) 『隣国からの告発－強制連行の企業責任2－』（山田昭次と共編）創史社、1996.6
- (2) 『来日外国人人人権白書』（江橋崇と共編）、明石書店、1997.11

論文

- (1) "Why is Asia Demanding Postwar Compensation now?," *Hitotsubashi Journal of Social Studies*, Vol.28 No.1, 1-14. The Hitotsubashi Academy, Hitotsubashi University, 1996.7

- (2) 「地方公務員の国籍要件撤廃の現段階」『ヒューマンライツ』96年12月号、44-49、部落解放研究所、1996.12
- (3) 「私たちに戦争責任はないか－戦争責任・戦後責任Q & A」『私たちの戦争責任』、51-96、システムファイブ、1996.12
- (4) 「戦後補償の内外格差にこだわりたい(問題提起、討論)」武者小路公秀編『日本外交の課題と選択』、241-263、大阪経済法科大学出版部、1996.12
- (5) 「自由主義史観が出てきた背景－それは現代の転向か?」『月刊オルタ』97年3月号、5-8、アジア太平洋資料センター、1997.3
- (6) 「外国人の権利－続く差別と新しい局面－」浦部他編『ドキュメント「日本国憲法」』、9-86、日本評論社、1998.5
- (7) 「国立大はいつまで外国人学校に門を閉ざすのか」『世界』98年6月号、46-52、岩波書店、1998.6
- (8) 「グローバル化と日本社会の多民族・多文化化の行方」『教育』98年10月号、6-15、国土社、1998.10

事典事項執筆

- (1) 「戦争責任と戦後補償－戦後50年国会決議の周辺－」『百科年鑑'96』20-21、平凡社、1996.4

報告書

- (1) 「隣に住む外国人との共生環境」『実践国際交流』83-87、(財)大阪国際交流センター、1997.9
- (2) 「留学生の保証人制度の経緯とあるべき姿を考える(対談)」『留学交流』10巻1号、6-13、ぎょうせい、1998.1
- (3) 「私を変えたアジア人留学生との出会い」『留學生理解のための基礎講座』一橋大学留学生センター教育研究シリーズ3、39-56、一橋大学留学生センター、1999.3

留学生センター関連出版物

1. 『一橋大学留学生センター紀要』創刊号、一橋大学留学生センター、1998.7
2. 三枝令子、橋本正博、青木人志編『留学生のための法律用語集』一橋大学学術日本語シリーズ3、一橋大学留学生センター、1999.3
3. 三枝令子、橋本正博、青木人志編『判例で学ぶ日本の法律』一橋大学学術日本語シリーズ4、一橋大学留学生センター、1999.3
4. 三枝令子、今村和宏、西谷まり『(留学生のための日本語教科書) 経済学・商学の語彙と表現』、一橋大学経済学部、1999.3
5. 渡辺雅男、五味政信、鶴田庸子、庵 功雄『社会科学の道しるべ(中級編)』、一橋大学学術日本語シリーズ5、一橋大学留学生センター、1999.3
6. 庵 功雄『ことばのしくみを考える』、一橋大学留学生センター教育研究シリーズ2、一橋大学留学生センター、1999.3
7. 横田雅弘、水野治久、田中 宏、五味政信『留学生理解のための基礎講座』、一橋大学留学生センター教育研究シリーズ3、一橋大学留学生センター、1999.3

『一橋大学留学生センター紀要』正誤表（第2号）

確認 55 頁が重複している

誤 82 頁 鶴田庸子 論文 「University of London」

正 82 頁 鶴田庸子 論文 「University of Luton」

執筆者各位にご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫びし、訂正いたします。

（『一橋大学留学生センター紀要』編集委員会）